

取扱説明書

ZETA RACING リアショック用ローダウンアウターキット

この度はZETA RACING商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

・取付前に、ダンパー本体のネジの余裕が以下寸法以上あることを確認してください。ネジの余裕がない場合は短めのスプリングが別途必要です。

C0350 (ZE56-32346)

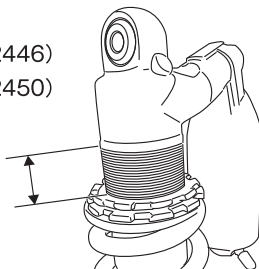
C0351 (ZE56-32350)

→ 14mm

C0352 (ZE56-32446)

C0353 (ZE56-32450)

→ 17mm



・取付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となります。

・作業内容に不安がある場合は、サスペンションショップにご相談、ご依頼ください。

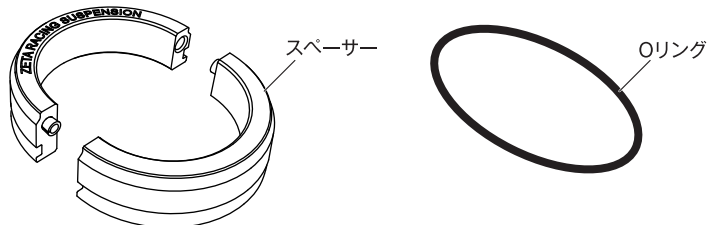
・サスペンションの車体からの取り外し・取付け、本体の分解・組立て作業は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し作業を行ってください。

・異常が認められた場合は作業を中断し、弊社までお問合せ下さい。

・製品に加工、改造は行わないで下さい。事故や破損の原因となります。

・作業時は保護メガネ等を使用し、ケガのないように注意してください。

2.セット内容



3.取付け方法

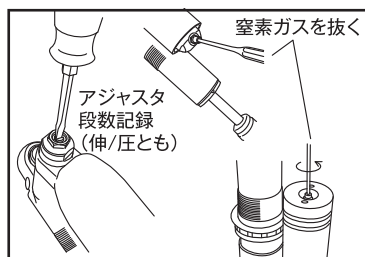
1) 車両からリアショックを取り外します。スプリング取付け長を記録し、スプリングを取り外します。

※スプリング取り外しまでの作業手順は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照して下さい。

2) 分解前に伸側/圧側アジャスタのクリック数を記録した後、すべてのアジャスタを全開にします。

3) [KYB/SHOWAのみ] サブタンク下側のバルブを押し、窒素ガスを抜きます。

[WPのみ] プラグをゆっくり緩めながら窒素ガスを抜き、プラグを外します。

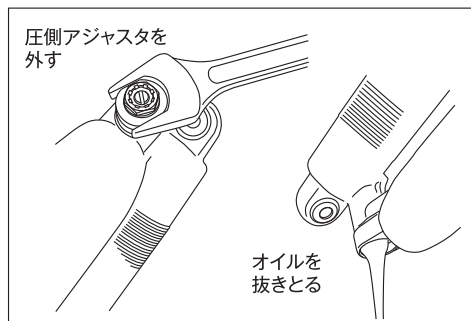


KYB/SHOWAのみの作業 ※WPの場合はP3の21)に進んでください

- 4) スパナ等を使用し圧側アジャスタをゆっくり外します。

※内部に圧力が残っているとオイルが噴出します。必ず窒素ガスを全て抜いたことを確認し、保護メガネを使用し慎重に作業してください。

- 5) オイルを抜き取ります。



- 6) ピンポンチ等を使用し、ストッパーの切り欠き部をプラスチックハンマーで叩き上げ、ストッパーを外します。

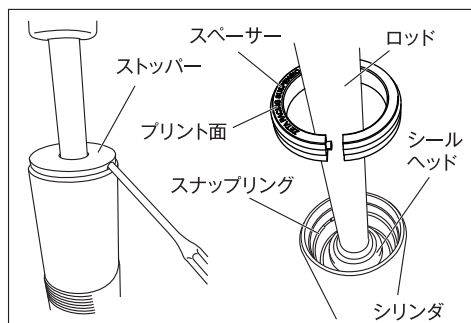
- 7) DRCシールヘッドブッシュツール*等を使用し、シールヘッドを押し下げます。

★品番：F8167 (旧品番：D59-37-166)

- 8) スナップリングを外します。

- 9) ロッドを挟み込むようにスペーサーを合わせ、スペーサーの溝にOリングを取付けます。

※図のようにプリント面を外側にしてください。
※Oリングにショックオイル、もしくはシリコン系グリスを塗布してください。

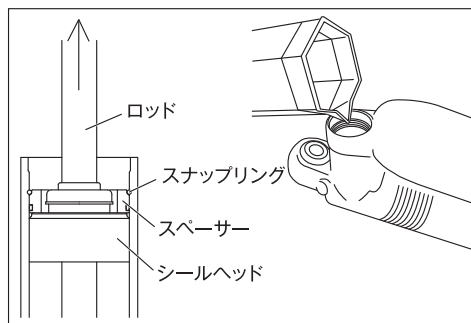


- 10) DRCシールヘッドブッシュツール等を使用し、スペーサーをシリンダのスナップリングがはまる溝より奥に押し込みます。

- 11) シリンダの溝にスナップリングを組み付け、スペーサーがスナップリングに当たるまでロッドを引き上げます。

※スナップリングが確実にリング溝にはまっているか確認してください。確実に合っていないとガス封入時や走行時に分解シケガや事故に繋がる可能性があります。

- 12) 圧側アジャスタ穴からショックオイルを注入します。



- 13) ピストンロッドを押し引きしながらオイルを注入します。

- 14) オイルがいっぱいになったら、再度ピストンロッドを押し引きし内部に溜まったエアを押し出します。

- 15) DRC RCUブリードカップ*を使用するとスムーズに作業することができます。

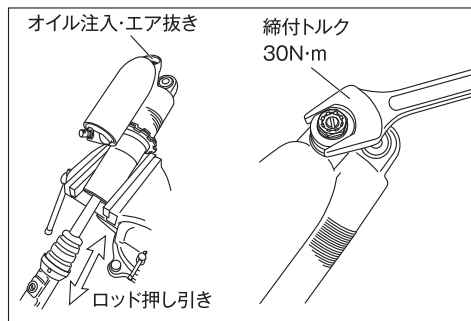
★品番 [K Y B] F8164 (旧品番：D59-37-160)

[SHOWA] F8162 (旧品番：D59-37-158)

[SHOWA] F8163 (旧品番：D59-37-159)

- 16) エアが出てこなくなったら、圧側アジャスタを取付けます。

※締付トルク30N・m



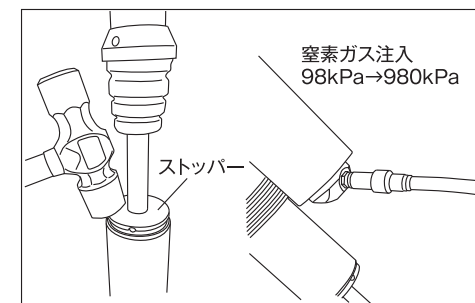
- 17) プラスチックハンマーを使用し、ストッパーを叩きながらはめ込みます。

- 18) サブタンク下部のバルブから窒素ガスを98kPa封入し、オイル漏れ・ガス漏れがないか確認します。

- 19) 異常がなければ980kPaまで窒素ガスを封入します。

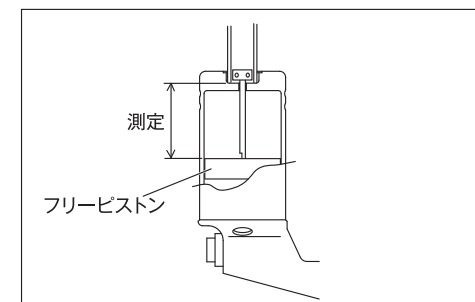
- 20) ガスホースを外し、ショック本体の動作を確認します。ピストンロッドを押し込み、開放した時に確実に伸び切ることを確認してください。

【P4の36)へ進んでください】



WPのみの作業

- 21) 3)で外したプラグ穴からノギス等挿し込み、フリーピストンまでの深さを測定します。



- 22) ピンポンチ等を使用し、ストッパーの切り欠き部をプラスチックハンマーで叩き上げ、ストッパーを外します。

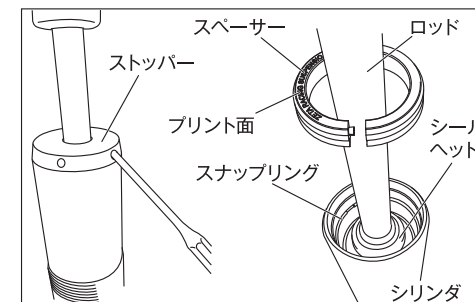
- 23) DRCシールヘッドブッシュツール*等を使用し、シールヘッドを押し下げます。

★品番：F8167 (旧品番：D59-37-166)

- 24) スナップリングを外します。

- 25) ロッドを挟み込むようにスペーサーを合わせ、スペーサーの溝にOリングを取付けます。

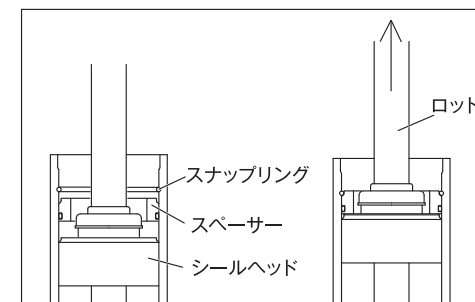
※図のようにプリント面を外側にしてください。
※Oリングにショックオイル、もしくはシリコン系グリスを塗布してください。



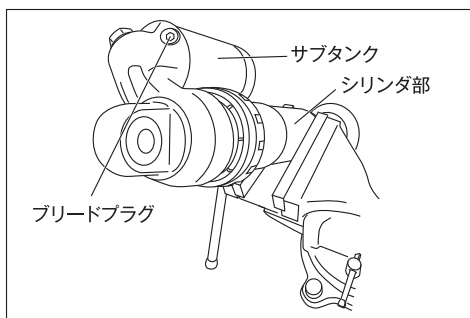
- 26) DRCシールヘッドブッシュツール等を使用し、スペーサーをシリンダのスナップリングがはまる溝より奥に押し込みます。

- 27) シリンダの溝にスナップリングを組み付け、スペーサーがスナップリングに当たるまでロッドを引き上げます。

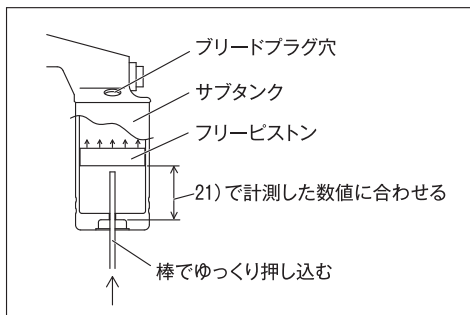
※スナップリングが確実にリング溝にはまっているか確認してください。確実に合っていないとガス封入時や走行時に分解シケガや事故に繋がる可能性があります。



- 28) シリンダ部を掴み、本体をバイスに固定します。
 ※本体に傷が付かないように、ウエスを挟むか樹脂製等のクランプを使用してください。
 ※強い力でクランプして、シリンダが変形しないようにしてください。内部にシールヘッドがある位置をクランプしてください。
 ※ロッドは必ず伸び切っている状態を維持してください。
- 29) サブタンク上部のブリードプラグを取外します。
 ※オイルが噴き出すことがあるので注意して外してください。



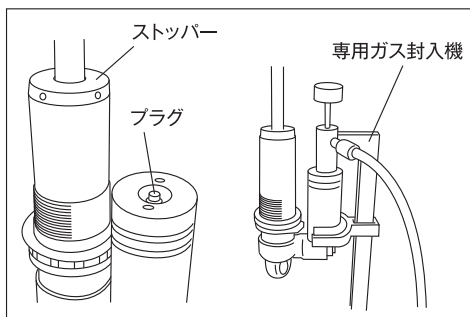
- 30) サブタンク内部のフリーピストンの位置が下がっているのを、下部のプラグ穴に直径4mmほどの棒を差し込み、フリーピストンを押し込みながら余分なオイルをブリードプラグ穴から排出します。
 ※フリーピストンが21)で測定した位置に戻るまでゆっくり押し込みます。
 ※押し込む棒は先端が鋭利ではない、鉄もしくはアルミ製の棒を使用してください。
 ※フリーピストンを押し込みすぎると戻すことが困難です。慎重にゆっくり押し込んでください。



- 31) ブリードプラグを取付けます。

※締付トルク 14N/mm

- 32) プラスチックハンマーを使用し、ストッパーをはめ込みます。
- 33) サブタンク下部のプラグを仮締めし、専用の封入機を使用して窒素ガスを100kPa封入します。
 ※オイル漏れ・ガス漏れがないか確認します。
- 34) 異常がなければ1000kPaまで窒素ガスを封入します。
- 35) 封入機から外し、ショック本体の動作を確認します。ピストンロッドを押し込み、開放した時に確実に伸び切ることを確認してください。



以下の作業はKYB/SHOWA/WP全てで行ってください

- 36) アジャスタを記録した数値に合わせます。
- 37) スプリングを本体に取付け、記録した数値に合わせてセットします。
- 38) 本体を車体に取付けます。

